



花とみどり 第4号

令和8年6月1日
飯塚市立庄内中学校
校長 岡松 範諭

《 本日は、学校開放日にお越しいただきありがとうございました。 》

本日は、学校開放日へのご来校、本当にありがとうございました。子どもたちの張り切る姿や、日頃の活動の様子を見守っていただけたことを嬉しく思います。

これからの教育活動をさらに充実させるため、右のQRコードより本日のご感想をお聞かせ頂けると幸いです。「〇〇の様子が良かった」などの一言でも大歓迎です。



《 職員室前に「ありがとうの樹」が花開きました 》

花と緑の庄内中学校には、「ありがとうの樹」という木があります。この木は、生徒たちが、「友達へ」「先輩へ」「先生へ」と宛てた、たくさんの「ありがとう」が集まってできている木です。

今回の体育会でも、職員室の前に、右側の写真のような立派な「ありがとうの樹」が完成しましたので、ご紹介いたします。

■ ありがとうの言葉で育つ、みんなの「心」

突然ですが、みなさんは今日、何回「ありがとう」という言葉を口にしましたか？ または、誰かから言われましたか。

学校では、子どもたちに「『ありがとう』を互いに伝え合おう」と話しています。これは単なるマナー（礼儀作法）としてだけではありません。実は「ありがとう」の言葉のやり取りには、子どもたちの心を大きく成長させる素晴らしいパワーが隠されているからです。



《 「ありがとう」で育つ心 》

1. 「ありがとう」を「言う」ことで育つ心

誰かに何かをしてもらったとき、それに気づいて

「ありがとう」と言えるのは、相手の優しさや工夫に気づく「視野の広さ」と「想像力」が育っている証拠です。「当たり前」の日常の中に転がっている小さな優しさに気づけるようになると、世界がもっと豊かで、あたたかいものになっていきます。

2. 「ありがとう」を「受け取る」ことで育つ心

自分が誰かのためにした行動に対して「ありがとう！」と言われると、「自分の力で誰かを笑顔にすることができた」「ここにいていいんだ」という強い安心感を抱きます。

このことが、自分を大切にできる心（自己肯定感）の大きな栄養になります。

3. 「互いに伝える」ことで強くなる結びつき

誰かが「ありがとう」と言い、言われた人が笑顔になる。この心地よいキャッチボールがクラスや学年の中で増えれば増えるほど、お互いを信頼し、認め合う絆が深まります。失敗を恐れずに挑戦できる「安心できる居場所」は、こうした小さな言葉の積み重ねで作られていきます。

【保護者のみなさまへのお願い】

ご家庭で、お子様がちょっとしたお手伝いをしてくれたときなどに、「いつも元気をくれてありがとう」と、言葉に出して伝えてみてください。中には、照れくさくて、そっけない態度をとるお子様もいるとは思いますが、内心は、嬉しく、心地よく感じていると思います。保護者の皆様からの「ありがとう」ほど、子どもたちの自己肯定感を育み、心の安全基地となるものはありません。よろしくお願い致します。



《 その学習、本当に「成績アップ」につながっていますか？ 》

定期考査 10 日前になりました。でも、今の学習の仕方、本当に「成績アップ」に繋がっていますか？学習は、「学習すること」が目的ではありません。「学習した内容を身につける」事が目的です。長い時間するより、自分に合った「確実に身につく学習方法」を探してみてください。

📌 要注意！「やったつもり」チェックリスト

- タブレットドリルを「勘」で進めている ☞ 画面の「正解！」で満足していませんか？ 選択肢を選ぶだけでは、記述式のテストで書く力はつきませんよ。
- ノートを「きれいにまとめ直す」だけで満足している ☞ 作成が目的の「作業」になっていませんか？これでは、脳が記憶しようとしていませんよ。
- 解答をすぐ見て、わかった気になっている ☞ 解説を読んで「納得する」のと、自力で「解ける」のは別物です。後から、もう一度解きなおしてみてくださいね。
- 暗記ものを、ただ眺めているだけ ☞ 脳は「思い出す」ときに定着します。手を動かす、セルフテストをするなどアウトプットが必要ですよ。

💡 「自分で自分を育てる」効果的な 4 ステップ

自分の弱点を見つめ、自分で軌道修正できる「自立した学習者」へレベルアップしましょう。

- 【現状把握】自分の現在地を正しく知る
間違えた場所に「×印」をつけて可視化し、何ができないかを仕分けします。
- 【逆算計画】「タスク（やること）」で計画を立てる
「×だった 5 問を完璧にする」など、目標を行動で決め、できたら「○印」に変えます。
- 【実行とメタ認知】本当に身についたかテストする
単元が終わったらセルフテスト。不十分なら再度振り返り、確実に○にしていけます。
- 【軌道修正】計画のズレをその日のうちに調整する
遅れたときは諦めず、「明日のスキマ時間でどう挽回するか」作戦を練り直します。

【アドバイス】「自分で決めて、実行し、成長を実感する」勉強法は、身につくとゲームを攻略していくような面白さがありますよ！更に友達と一緒に競い合うと、楽しさ倍増です。

【生徒総会】「任せる」から「創る」へ

先日の体育会で大きな成長を見せてくれた生徒たち。次なる舞台は「生徒総会」です。目指すのは、全校生徒が安心安全に過ごせる学校を、自分事として創ること。リーダー任せにせず、一人ひとりが理想の学校像を考え、言葉にしていき、誰もが羨む自慢の学校を目指しましょう。生徒のみなさんには、次の 2 つを思い出してほしいと思います。

- 体育会での成長：自ら動き、仲間を支えた主体性を学校づくりに生かす。
- 長先生の「共生」の授業：一人ひとりの個性を大切に、共に心地よく過ごす視点を持つ。

★ 学級審議は、前向きな「作戦会議」

学級審議は、リーダーの議案をただ審査する場ではありません。「この議案をもとに、もっと安心安全で自慢できる学校にするには？」という前向きな視点で意見を出し合う場です。「誰かが変えてくれる」を待つのではなく、自分たちの手で創るのです。

自信を持って、前向きなアイデアを発信したり、リーダーへの応援や賛成意見もどんどん発信して、総会を活性化させていきましょう。

さあ、みんなの言葉で理想の学校をカタチにしよう！

